

広

報

あつま

いのち満ちる 農(みのり)の里あつま 大いなる田園の町

2011

No. 701

1

どうか今年も
たくさんの笑顔に出会えますように...

禁煙

5

非常口
EXIT



年頭のごあいさつ



活力と魅力ある
まちづくりを目指して

厚真町議会議長

河村忠治

の残るところでもあります。

国内で10年ぶりに発生が確認された口蹄疫は宮崎県内約1300施設の牛や豚など約29万頭の家畜が処分され、その痛ましい状況と、飼育に全力を注ぎ込まれていた育成農家の方々の苦悩は心痛むものであり、町内においても感染予防の関係から、田舎まつりや海浜まつりなど多くのイベントが中止となったところであります。

また、昨年夏の猛暑や雨による被害は記録的なものが多く、道内農作物への影響もありました。本町においても昨年8月の大雨による災害で、道路・河川・公園等の公共施設や、農業関係では農作物と農業施設において浸水や冠水被害および損壊等の災害が発生しましたが、大災害にならなかったことに正直胸をなで下ろしているところであります。

このような中、チリ鉱山落盤事故での奇跡の救出劇や、衛星「はやぶさ」の人類初の快挙とも言

新しい公共空間の創造と 明るく自立した地域社会の 実現に向けて



厚真町長

宮坂 尚市朗

町民の皆さん新年明けましておめでとうございます。二〇一一年の輝かしい新春を迎え心からお慶び申し上げます。

昨年は、春先の低温から一転して記録的な猛暑となりましたが、多くの農作物が高温・多雨の影響を受けて減収や品質低下を招く結果となり、酪農でも乳牛の生産量が減少するなど、農業者の皆様には総じて厳しい年となりました。また、宮崎県で発生した口蹄疫は、畜産経営にかつてない不安感や危機感をもたらしましたが、本町では「第三十八回厚真町田舎まつり」を開催直前で中止せざるを得ない状況になるなど、遠く北海道の地域経済にも影響が及びました。

こうした中であつて、平成十二年以来の新嘗祭献穀米の指定を受けて、無事献上できましたことは、誠に喜ばしいことであり、良質米生産地としてのプライドを受け継ぎ、新しい歴史を刻むことができました。肥培管理にご尽力いただいた生産者の方には、改めてお礼を申し上げます。

さて、皆様にご心配をおかけしている厚幌ダム建設は、昨年暮れからようやく再検証作業が始まり、今年の春までには北海道としての対応方針が決定される見込みであります。知事の意欲的な発言に大いに期待しているところですが、予断を許さない状況が続いていることは確かでありますので、引き続き関係機関の皆様とともに要請活動に最善を尽くしてまいります。また、農業農村整備予算が縮小する中にあつて、北海道のパワーアツプ事業の継続と国土交通省北海道局の存続が明らかになつたことは、明るい材料でありますので、今後とも道営ほ場整備と国営農業用水再編対策事業の促進に努力してまいります。

昨年からのモデル的（？）に取り組んできた「農業者戸別所得補償制度」は、本年度から畑作へと拡大し本格実施されようとしています。戦後農政の大転換であります。一方、環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）の協議開始が閣議決定されるなど、食糧自給率の向上を目指す新しい「食料・農

業・農村計画」やAPEC食料安全保障担当閣僚会議の新潟宣言と反する政策展開に、農政の混乱ぶりが極まった感があります。国を開く前に国内産業の強化・保護を行うことは、政府の責任であると思いますが、今私たちがなすべきことは、経営体質の強化と地域資源の価値の最大化を図ることだと考えています。そのためには生産者をはじめ関係機関の創意工夫と一致協力していくことが必要です。

町民の皆さんから多くの期待が寄せられています。した高速大容量通信基盤の整備は、光ケーブルと無線方式で昨年春にサービスを開始いたしました。が、本年春からBフレッツサービスエリアの拡大を図ります。また本年七月から完全実施される地上デジタルテレビ放送に対応するため、まもなく難視聴地域の共聴施設サービスを開始する予定であり、山間地域においても、情報通信高度化の恩恵が受けられるよう引き続き努力してまいります。また、少子・高齢化時代にあつて地域の活力を維持するには、若年世代の移住や定住をいっそう進めることが重要であり、新たな住環境の創出としてフォーラム・ビレッジの開発や公営住宅・定住促進住宅の建設に取り組むとともに、認定子ども園の開設や学童保育の充実等、子育て環境の向上を求める声にしっかりと応えてまいります。

上厚真市街地整備構想や臨海施設ゾーン整備構想など、多くの皆さんが参画して進めている地域計画も整備の方向性や事業内容が明らかになりつつあり、苫小牧港東港区の充実発展に合わせて整備推進を図ってまいります。

地方における経済情勢と財政事情は益々厳しさを増してきておりますが、町民の皆さんとの協働による新しい公共空間の創造と明るく自立した地域社会の実現に向けて、本町の魅力や潜在力を活かす試みに積極果敢に取り組む決意を新たにしているところであります。

本年も町民の皆さんのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。

われている小惑星「イトカワ」からの帰還による未知との挑戦劇は全世界から注目され、その多くの方々に夢と希望、そして感動を与えてくれた年でもありました。また、道内におきましても「クロスカップリング」の技術開発で一躍有名になられた北海道大学名誉教授鈴木章氏のノーベル化学賞受賞や、北海道日本ハムファイターズが獲得した早稲田大学の斎藤佑樹投手など、明るい話題も多々あります。

さて、今年は軽舞小学校と富野小学校の2校が統合という形のなかで閉校を迎えようとしたております。児童数の減少など止むを得ない実情とは申しながら、町民の皆様それぞれに感慨深き思いがあります。両校とも110余年という歴史の中で、地域における教育の中心であるとともに生活や文化の中心的役割も果たし、歴史深い伝統や優れた多くの卒業生を送りだしてくれましたことは町の宝でもあります。

地方分権における自治体の自己決定と自己責任、更には政策形成のあり方が今以上に問われる時代であります。議会改革については本年の改選に向け、議員定数の見直しをはじめ本会議場や議会ホームページの改善など議会活性化に努めます。議会といたしましても、町民の皆様の意思を町政に反映させ、議会活動に積極的に取り組むと同時に、夢と希望そして感動を与えるような活力と魅力あるまちづくりを目指して取り組んでいく所存であります。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、町民の皆さまのより一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

民生委員・児童委員は

あなたの身近な相談・援助役

12月1日付けで厚生労働大臣などから委嘱

任期満了により、全国一斉に民生委員・児童委員と主任児童委員の改選が行われ、平成22年12月1日付けで、本町の新しい委員20人が厚生労働大臣と北海道知事から委嘱を受けました。
これから平成25年11月までの3年間を担当する委員の皆さんを紹介します。お気軽にご相談ください。

民生委員、児童委員、主任児童委員とは何ですか？

民生委員は民生委員法に基づく福祉分野の無給の奉仕者で、住民の立場に立つて相談・援助を行います。

町や北海道などに対する「協力機関」と位置付けられており、厚生労働大臣が委嘱します。

児童委員は児童福祉法に基づいて妊産婦や児童を対象に情報提供などをする無給の奉仕者で、この法律で民生委員が兼ねるよう規定されています（以下、民生・児童委員といえます）。

委員といえます）。

民生・児童委員は町内で担当区域を決めて活動することになっており、身近な相談者といえます。

主任児童委員は民生・児童委員のうち厚生労働大臣から指名された方で、区域を担当せず児童福祉機関と民生・児童委員との連絡・調整をしたり、民生・児童委員を援助したりします。

民生・児童委員は具体的に何をしていますか？

- 民生委員法に規定されていて、
- ① 住民の生活状態を把握する。
 - ② 相談・助言・その他の援助を行う。
 - ③ 福祉サービスを適切に利用するために必要な情報提供その他の援助を行う。
 - ④ 社会福祉事業を営営する人（本町は町社会福祉協議会）と密接に連携し、その事業や活動を支援する。
 - ⑤ 福祉事務所その他の関係行政機関の業務に協力する。
 - ⑥ 住民の福祉増進を図るための活動を行う。以上の6点です。

民生・児童委員の組織はどのようなになっていますか？

民生・児童委員は民生委員法により民生委員児童委員協議会を組織することになっています（本町は民生委員協議会を組織しています）。

毎月一回定例会議を開き、地域の福祉問題の分析や担当している世帯への援助方法などを行います。

民生・児童委員の身分はどのようなになっていますか？

民生・児童委員の身分は、仕事の内容から地方公務員とされ、現在は、北海道の特別職に属する地方公務員となっています。

職務の遂行にあたっては、個人の人格を尊重し、秘密を守り、いかなる差別も優先的な取り扱いもできません。

退任された8人の方々に厚真町などから感謝状を贈る



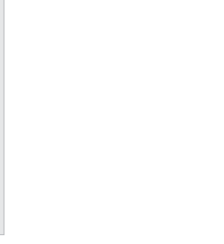
就任にあたり古川副町長から委嘱状を受ける民生委員

平成22年11月30日をもって退任された方々に厚生労働省、町などから感謝状が古川副町長から伝達・贈呈されました。贈呈されたのは、本田博子さん（本郷）、荒井章一さん（富里）、中村清さん（朝日）、飛谷文子さん（本町）、大西武雄さん（表町）、川岸長治さん（美里）、川本清美さん（上野）、金谷千代子さん（上厚真）

新しい民生委員児童委員の皆さん

敬称略

担当区域（自治会）	委員の顔写真
住所・名前 電話番号	再任 新任

厚和・浜厚真・清住 地区		豊 沢 中谷 英子 ルーラル	本郷団地 	幌内 
	濱厚真 館山 睿 ☎28-3435 再	豊 沢 中谷 英子 ☎27-2830 再	本郷 幅田 利子 ☎27-2265 新	幌内 小納谷睦子 ☎29-5154 再
豊丘・軽舞		美里・豊川 	幌里・幌里開拓・厚真福祉施設 	富里・高丘・吉野 
	軽舞 大橋 正治 ☎28-2552 再	豊川 阿部 清一 ☎27-3643 新	幌里 赤坂 弘 ☎27-3553 再	富里 楠木 哲郎 ☎29-5245 新
鹿沼・鯉沼		上野・豊沢・富野 	東町・北町 	桜丘・朝日 
	鹿沼 山口 純子 ☎0145-42-4653 再	豊沢 大垣 裕子 ☎27-3057 新	京町 佐々木京子 ☎27-2670 新	朝日 上田 俊行 ☎27-3452 新
主任児童委員	富野 細川 隆雄 ☎28-2463 再	共和・共和・共和団地 	西町・表町団地 	東和・宇隆 
		共和 伊東 悦子 ☎28-2172 再	錦町 宮副恵美子 ☎27-2771 再	東和 沼田 麗子 ☎27-3521 再
主任児童委員		上厚真 	新町・南町 	本郷・ともいきの里 
	表町 小納谷順子 ☎27-3655 再	上厚真 佐藤 秋夫 ☎28-2365 新	新町 加藤 恵子 ☎27-3422 新	本郷 當田 和子 ☎27-2020 再

12月16～17日

平成22年第4回定例会

議会

平成22年第4回定例会が、12月16～17日、2日間の会期で開催されました。

審議されたのは、平成22年度一般会計補正予算など議案12件、同意1件、認定7件、報告5件、意見書案5件で、いずれも原案どおり可決・認定されました。

その主な内容についてお知らせします。

同意

固定資産評価審査委員会委員に内山豊さん(厚和)を選任

平成22年12月21日で任期満了となる厚真町固定資産評価審査委員会委員に、引き続き内山豊さん(厚和)が選任されました。

議案

22年度一般会計予算68億8138万2千円に

22年度厚真町一般会計予算は、歳入、歳出それぞれ、6,579万5千円が追加され、総額で68億8,138万2千円になりました。補正された主なものは、次のとおりです。

【追加】
・上厚真かえで団地公営住宅建設事業

・予防接種事業

510万9千円

町議会議員の定数を削減12人↓11人へ

厚真町議会の議員の定数を現行の12人から1減の11人とする条例案を、原案通りに可決されました。

町税条例の一部改正

厚真町における今後の税源確保のため、全道的な傾向と担税力を考慮し、町民税の法人税割の特例の期間の延長を行うために、税条例の一部が改正されました。

商標権「紫の瞳」を無償譲渡

商標権「紫の瞳」について、今回の譲渡先においては、ハスカップを活用して開発する加工品への使用が目的であり、商標の当初の目的と一致していること、譲渡先で実施する商標の移転手続き等の費用も大きく、地域特産品を活用した地域活性化の取り組みへの支援の観点から、無償により譲渡することになりました。

認定

平成21年度町各会計の歳入歳出決算を認定

決算審査特別委員会（今村昭一委員長）に付託されていた平成21年度の厚真町一般会計および国民健康保険事業をはじめとする6特別会計歳入歳出決算について、委員長から意見を付けた報告が行われ、本会議で認定されました。

意見書案

五つの意見書案を採択し内閣総理大臣などに提出

次の意見書案が採択され、内閣総理大臣などに提出されました。

- 厚真川河川改修事業促進に関する意見書
- ・提出者 今村議員、木戸議員、海沼議員、米田議員、木村議員
- 政府によるTPP交渉への意見書
- ・提出者 右に同じ
- 北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書
- ・提出者 右に同じ
- 政府のEPA基本方針に関する意見書
- ・提出者 右に同じ
- 農業農村整備事業の促進に関する意見書
- ・提出者 右に同じ

宮坂町長からの行政報告 －2件－

■農作物の作況状況報告について
まず最初に、農作物の作柄についてご報告いたします。

今年は、春先の低温から一転して記録的な猛暑となりましたが、多くの農作物が高温・多雨の影響を受け、減収や品質低下を招く結果となり、全体的には作柄の優れない出来秋となりました。

水稻では、12月8日に北海道農政事務所が公表した平成22年産の作況指数が、全国・北海道ともに98と、「やや不良」でありましたが、胆振は102の「やや良」の作柄になりました。しかし、本町では、苗の植傷みや猛暑による分けつの減少、イモチ病の多発や倒伏による収穫ロス等で、ほ場ごとの格差が大きく、全体的には作況指数を実感できる状況にはなっておりません。

米の出荷量（12月10日現在、JAとまこまい広域分）は、加工用米・新規需要米等を含め製品換算重量で約6,800㍑（約113千俵）、規格外米を合わせると約7,800㍑（約130千俵）の出荷で、現在のところ、取扱数量は計画対比97%、取扱金額は過年度分の精算額を含め、計画対比85%となっております。

低タンパク米の基準値である6.8以下の出荷比率は、猛暑の影響により全体の約1%と極めて少ない状況でしたが、主食用米は全量1等となり、また、登熟期間が高温で推移したことによりアミロース値が低く、粘りのある食味の良い米に仕上がっています。

全道的にも低タンパク米比率が低い中、「ゆめぴりか」は、本年度の単品販売のタンパク基準値7.9%以下の製品が約96%と健闘し、来年産の作付増加を期待しているところであります。

大豆の出荷量（12月10日現在、JAとまこまい広域分）は、乾燥推定重量が約910㍑で、小粒種で約650t（スズマル、ユキシズカ）、大粒種で約260t（トヨムスメ、ユキホマレ）という内訳であり、ほぼ「平年並」の作柄となっております。

現在、順次、等級検査が行われていますが、猛暑の影響で品質低下した大粒種の一部を除き、全体の90%以上が等級品となる見込みです。

小豆（12月10日現在、JAとまこまい広域分）は、猛暑の影響を受け、急激な仕上がりにより小粒となり、収量（186kg/10a当たり、JAとまこまい広域集荷分）は、平年を大きく下回りました。

てん菜は、春先の低温とその後の猛暑により、生育が著しく劣り、収量（4,039kg/10a）・糖分比率（16.1%）ともに、平年を大きく下回る見込みです。

以上のとおり、主要作物は春先の低温とその後の猛暑の影響を受け、多くの作物が平年を下回る作柄となりました。

農産物価格について、特に米価は、最近になって下げ止まり感があるようですが、昨年に比べ大幅に下落する事態となっており、米戸別所得補償モデル事業で一部補償されることにはなっているものの、歴史的に転換した国の米需給調整機能が、十分に発揮されなかったと言わざるを得ません。さらに、来年産米の都道府県配分にお

いては、北海道の生産数量目標が大きく削減され、不公平感を否めないものとなっております。

来年度からは農業者戸別所得補償制度が本格実施される見込みになっておりますが、政府は、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）について「関係国との協議を開始する」と明記した「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、来年度、農業構造改革推進本部により農業対策を取りまとめることとしており、今後の日本農業の行方が混迷化を深めております。

町としても対応に苦慮いたしておりますが、まずは、来年度の営農に支障を来たすことがないよう、関係機関と連携を密にし、今後とも迅速な情報収集と制度周知等に努めてまいります。

■各建設工事の進捗状況について
次に、建設工事の進捗状況についてご報告いたします。

胆振総合振興局室蘭建設管理部が進めております開発道路北進平取線は、トンネルの入口の法面工及び出口の横断函渠工を施工しており、3月下旬の完成予定となっており、進捗率は27%であります。また、厚真川水系河川改修工事につきましては、厚真川は富里地区の585mの区間で河道掘削、築堤盛土、護岸工事等を3月下旬の完成予定で進捗率は60%です。

ウクル川は、本年度で植生工を終了しすべて完成であります。

入鹿別川は、河口付近の河道掘削、築堤盛土等を3月下旬の完成予定で、進捗率は50%です。

他の道道事業では、上幌内早来線の吉野地区の用地補償及び実施設計、また厚真浜厚真線の上厚真地区からインターまでも同様、実施設計をいたしております。

町の道路事業につきましては、緑越事業及びフォーラムビレッジ内町道整備も含めて、新町美里線など11路線の改良工事を進めており、完成は12月下旬の予定で全体の進捗率は95%であります。

また、児童会館通り線など、舗装工事の9路線につきましても、97%の進捗率であります。

本年8月の大雨による平成22年災害復旧事業については、単独災害復旧工事については既に完了いたしておりますし、公共災害復旧工事についても来年3月下旬の予定で、単年度で災害復旧工事がすべて終了いたします。

公園の整備事業については、新町町民広場のトイレ改築工事等を進めており完成は、12月下旬の予定で進捗率は96%であります。

次に、住宅事業についてであります。上厚真かえで団地6号棟及び駐車場整備工事は完成が2月下旬で進捗率は58%であります。

簡易水道事業については、豊沢地区配水管布設工事及び厚和地区配水管布設工事等は既に完了し、公共工事等に伴った本管の布設替工事につきましても、既に工事が完了しております。公共下水道事業については、浄化槽市町村整備工事の内、浄化槽設置予定の30基の内21基が既に完成しております。

《審議された内容》		番号	件	名
同意	案1	厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任		
議	案2	厚真町選挙公報の発行に関する条例の制定		
	3	厚真町犯罪被害者等の支援に関する条例の制定		
	4	厚真町議会の議員の定数を定める条例の一部改正		
	5	厚真町税条例の一部改正		
	6	厚真町有財産の譲与		
	7	厚真町テレビ共聴施設整備工事請負契約の締結		
	8	平成22年度厚真町一般会計補正予算（第7号）		
	9	国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）		
	10	介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算《第2号》）		
	11	簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）		
	12	公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）		
認定	1	平成21年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定		
	2	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定		
	3	老人保健特別会計歳入歳出決算の認定		
	4	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定		
	5	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定		
	6	簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定		
	7	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定		
報告	1	厚真町国民保護計画の変更		
	2	専決処分報告（契約議決の変更）		
	3	委員会調査報告（議会改革調査特別委員会）		
	4	所管事務調査報告（各常任委員会）		
	5	現金出納例月検査の結果報告		
意見書案	1	厚真川河川改修事業促進に関する意見書		
	2	政府によるTPP交渉への意見書		
	3	北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書		
	4	政府のEPA基本方針に関する意見書		
	5	農業農村整備事業の促進に関する意見書		

あなたにとっての2010年はどんな年でしたか？

みのり 農の里 2010

町制施行50周年記念式典

町制50周年記念式典が9月23日、総合福祉センターで行われ、町内外から約200人が出席しました。
名誉町民の贈呈式や平成22年度町表彰、厚高3年生による町民憲章の朗読。アトラクションの幌内神楽などを通して、半世紀の節目を盛大に祝いました。
祝賀会では、オール厚真産の料理が振舞われ、町制50周年に花を添えました。

【9月23日】



藤原前町長に名誉町民の称号

厚真町制施行50周年記念式典で、前町長の藤原正幸さんに名誉町民の称号が贈られました。
藤原さんは、平成4年7月に厚真町長に初当選以来4期16年にわたり、町民の生活環境の向上に尽くされ、さらに教育社会の振興、福祉の増進、各種交流事業の推進など、町制と地方自治の発展伸張に大きく貢献されました。

【9月23日】

町民植樹祭を盛大に開催

宇隆の環境保全林で6月5日、町内各団体の関係者や一般参加の町民など約80人が、町制50周年を記念した「町民植樹祭」に参加しました。
ニトリ北海道応援基金の支援を受け、約0.2畝にミズナラの苗木1240本を植樹。
後日、一般公募で名称を募り同地を「君達の森」と名付け、町の財産として管理し未来に残していきます。

【6月5日】



御田植祭(5回目)で豊穰の秋を祈る

石井勉さん(富里)の水田で、宮中行事の新嘗祭に奉納する米の栽培に向け、御田植祭を行いました。

水田の横に祭壇が設けられ、玉串を捧げるなどの神事に続き、関係者がゆめぴりかの苗を肅々と手植えました。
【5月28日】



「グルメと婚活よくばりツアー」が初めて企画され、行われました。札幌・苫小牧、町内などから計49人が参加。収穫体験やバーベキュー、ミニバレーなどを楽しみながら、最後にはひと組のカップルが誕生しました。
【7月10・11日】



厚真の幸せ♥婚活ツアーを開催

あつまくらぶ「もぎたて市」多彩な交流がひろがる

農家の主婦5人で構成するあつまくらぶの「もぎたて市」が、今年も6月にオープンしました。毎週木曜日、正午のサイレンと同時に買い物客で会場は長蛇の列。最終日には、おにぎりや豚汁が振まわれ、来場者は笑顔で食事を楽しみました。
【9月30日】



来年3月に閉校を迎える富野小で10月24日、文化祭に合わせ閉校記念碑除幕式が行われました。
在校生や教職員をはじめ、同窓生や来賓など約100人が参列。関係者は、尽きない学び舎の思い出を語り合っていました。
【10月24日】



富野小で閉校記念碑除幕式 111年の歴史を碑に込める

主な出来事つづり

1月	上厚真市街地で厚真消防団と消防署厚真支署の合同出初め式(6日)、成人者47人が出席し第62回町成人式を挙行(10日)、第3回あつま国際雪上3本引き大会(24日)
2月	スターフェスタ2010「第11回冬の花火大会・『寅』の干支文字焼き」がこぶしの湯あつま周辺、2010光のページェント「第10回ランタン祭り」が厚真川河川敷で行われる(3日)、スタードームで室内ソフトボール大会(15～18日)
3月	「食の工夫展」JAとまこまい広域女性部厚真支部が総合福祉センターで開催(4日)、平成22年第1回定例町議会が開会(9日)、女子サッカーアドゥーマ激励会(21日)
4月	ライオンズクラブが上厚真に今年も100匹のこのいのぼりを掲揚(20日～)
5月	軽舞小学校で閉校年記念植樹会としてエゾヤマザクラ23本を校舎周辺に植樹(21日)、富里の石井勉さんの水田で「御田植祭」が行われる(28日)
6月	宇隆の環境保全林で「町民植樹祭」を開催(5日)、平成22年第2回定例町議会が開会(8日)、第38回田舎まつり前夜祭・本祭が口蹄疫のため中止に
7月	「グルメと婚活よくばりツアー」を初開催(10～11日)、昨年に引き続きATV(4輪バギー)の全日本大会が浜厚真オフロードパークでバトルを展開(18日)
8月	第10回集まりンピック(第45回町民体育祭)がかしわ公園野球場で開催(22日)、忠魂碑を厚真神社境内からつつたえり公園に移設(24日)、町戦没者追悼式がおごそかに総合福祉センターで挙行(30日)
9月	平成22年第3回定例町議会が開会(9日)、町敬老会が総合福祉センターで開催。シルバー247人が出席(12日)町制施行50周年記念式典を挙行(23日)
10月	第11回健康ふれあいマラソン大会で126人が完走(12日)、厚真魂打太鼓15周年記念祝賀会を挙行(16日)、富野小学校閉校記念碑除幕式を挙行(24日)
11月	町文化祭が総合福祉センター、厚南会館などを会場に行われる(3～4日)、姉妹都市の岩手県奥州市議会など視察来町(19日)
12月	恒例の歳末チャリティー不用品即売会・演芸大会が総合福祉センターで開催(1日)、交通安全・防犯町民集会在総合福祉センターで(8日)、平成22年第4回定例町議会が開会(16日)

子どもたちは日々成長し少しずつそして確実に大きくなっていく。

その成長で歳月の経過を感じる大人たち。心も体も大きく育て厚真っ子。





分譲地概要とアクセス			
●所在地／厚真町字豊沢	●販売／53区画		
●用途地域／第1種住居地域、第2種低層住居専用地域	●地目／宅地	●建ぺい率／30%	
●容積率／50%	●水道／町上水道	●下水道／合併浄化槽	●ガス／LPガス
●通信／Bフレッツ	●役場／町役場2.0km	●学校／中央小学校2.0km、厚真中学校2.0km	●病院／あつまクリニック2.1km
●その他／苗木のプレゼント有			
※この団地には、住宅地としての環境や景観を維持するため、地区計画が設定されています			

待望の分譲地。いよいよ予約開始！

町が販売する分譲地『フォーラムビレッジ』のご案内

このたび町が自信を持ってお届けする分譲地『フォーラムビレッジ』は、住宅地全体が豊かな天然の樹木で覆われ、すぐ近くにはすがすがしい小川が流れる。なだらかな南斜面の土地をそのままに活かした住宅地ですので、どの宅地も日当たりは抜群です！！

しかも1区画200坪以上の広々とした宅地ですから、自然の中で太陽の恵みをいっぱい受けての「自然回帰」の生活を満喫していただけます。今回、第1期分譲地として53区画をご用意しました。皆さんのお気に入りの宅地で、“スロー&グリーンライフ”を思う存分お楽しみください。

フォーラムでお会いしましょう！

このたび町では、新しい分譲地「フォーラムビレッジ」の予約受付を開始いたしました。厚真の特徴である豊かな自然を残した、他の町では決して求めることの出来ない厚真限定の分譲地です。お求めやすい価格ですので、町民の皆さんはもちろんのこと、友人や、親戚の方々にもご紹介いただき、ぜひご見学にいらしてください。私たち職員が、誠心誠意をもってご案内させていただきます。

（担当者のひと言）

まちづくり推進課
主事 森田 綾



■価格・面積

区画	面積(㎡)	面積(坪)	分譲価格(円)	単価(坪)	区画	面積(㎡)	面積(坪)	分譲価格(円)	単価(坪)
1	1,456.63	440.6	7,452,000	16,910	31	1,000.00	302.5	4,901,000	16,200
2	1,419.41	429.4	6,620,000	15,420	32	1,000.00	302.5	4,901,000	16,200
3	1,469.68	444.6	7,364,000	16,570	33	1,000.00	302.5	4,901,000	16,200
4	916.79	277.3	4,352,000	15,690	34	908.80	274.9	4,454,000	16,200
5	922.00	278.9	4,242,000	15,210	35	815.43	246.7	3,996,000	16,200
6	894.21	270.5	4,246,000	15,700	36	920.53	278.5	4,636,000	16,650
7	912.20	275.9	4,468,000	16,200	37	718.31	217.3	3,771,000	17,360
8	1,602.67	484.8	7,303,000	15,070	38	757.61	229.2	3,824,000	16,690
9	2,224.83	673.0	9,835,000	14,620	39	757.61	229.2	3,824,000	16,690
10	1,675.49	506.8	7,107,000	14,020	40	741.64	224.3	3,743,000	16,690
11	1,657.27	501.3	7,949,000	15,860	41	1,085.37	328.3	5,100,000	15,530
12	1,674.47	506.5	7,635,000	15,070	42	1,291.82	390.8	7,462,000	19,100
13	1,731.17	523.7	7,049,000	13,460	43	1,100.51	332.9	5,721,000	17,190
14	1,532.95	463.7	6,636,000	14,310	44	1,374.06	415.7	7,540,000	18,140
15	1,052.63	318.4	5,153,000	16,190	45	1,101.60	333.2	5,452,000	16,360
16	1,053.23	318.6	5,156,000	16,190	46	1,216.12	367.9	6,019,000	16,360
17	1,053.23	318.6	5,156,000	16,190	47	971.43	293.9	4,752,000	16,170
18	1,035.09	313.1	5,488,000	17,530	48	799.78	241.9	4,077,000	16,850
19	969.68	293.3	4,319,000	14,730	49	699.37	211.6	3,186,000	15,060
20	1,078.24	326.2	5,337,000	16,360	50	1,604.74	485.4	8,002,000	16,490
21	816.92	247.1	4,043,000	16,360	62	900.00	272.2	4,632,000	17,020
22	910.32	275.4	4,506,000	16,360	75	869.66	263.1	4,521,000	17,190
23	864.53	261.5	4,539,000	17,360	89	700.00	211.7	3,395,000	16,040
24	1,082.67	327.5	5,685,000	17,360					
25	875.00	264.7	4,417,000	16,690					
26	875.00	264.7	4,417,000	16,690					
27	836.75	253.1	4,223,000	16,690					
28	879.39	266.0	4,439,000	16,690					
29	692.49	209.5	3,636,000	17,360					
30	950.98	287.7	4,896,000	17,020					

* 赤字下線の区画番号は「フォーラムビレッジ生活利便地区」です。

■お問合せお申込は
厚真町まちづくり推進課
〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町120番地
TEL:0145-27-3179 FAX:0145-27-2328
E-mail: iju@town.atsuma.lg.jp
<http://town.atsuma.lg.jp/welcome-move/iju.htm>

12月のまちの話題

本瀬吉英さんが瑞宝双光章を受章

「50年間続けることができたのも、周囲の人たちのおかげ…」

秋の叙勲で瑞宝双光章を受章された本瀬吉英さん（表町）に12月7日、役場町長室で伝達式が行われ、北海道胆振総合振興局吉村地域政策部長から勲記と勲章が伝達されました。

本瀬さんは、昭和27年4月に厚真村消防団に入団し50年間の長きにわたり生業を投げ打って、町民の生命と財産を守るため消防活動に精励。昭和56年4月から分団長、その後、昭和62年9月から副団長、平成2年6月から団長の要職を歴任し、団長就任中は女性消防団の立ち上げ、平成4年には大水害の対応などに手腕を振るいました。伝達後本瀬さんは「団活動を50年間続けることができたのも、家族や先輩など周囲の人たちの支えがあったからこそ。心から感謝したい」と晴れやかな表情で話していました。



伝達式で勲記を受け取る本瀬吉英さん

年の瀬に元気奏でる チャリティー演芸大会

歳末恒例の厚真町婦人団体協議会（藤本昭子会長）による第34回歳末助け合いチャリティー演芸大会が12月1日、今年は厚南会館で行われました。個人や団体が1年間練習を積み重ねてきた演芸に対し、会場に足を運んだ町民から拍手と喝采がおくられていました。役場新人職員の長瀧夢子さんと横山はるかさんの2人が、懐かしのザ・ピーナッツ「恋のフーガ」など2曲を披露。ハニカミながらも、かわいらしく歌い上げていました。このイベントの益金は、社会福祉協議会に寄付されました。



ヒゲダンスを踊り会場を沸かせる出演者



児童が作った料理に喜ぶ参加者

これが最後の「富小まつり」 お手製料理でおもてなし

富野小学校（山本他喜男校長）で12月15日、日頃お世話になっている地域の方々約30人を招待し、「富小まつり」を同校の体育館で行いました。“感謝の気持ちを込めて”をテーマに児童が学校農園で収穫した野菜で、サツマイモのサラダ・カボチャダンゴ・サツマ汁、計3品の料理を作りました。会に先立ち有馬清悟くん（5年）が「皆さんへの感謝の気持ちを込めて料理を作りました。今日は楽しんでいって下さい」とあいさつ。出席者の小松岩雄さん（上野）は「胸もお腹もいっぱいになりました」と児童の心のこもった気配りに感激していました。

「food is 風土」異文化交流で、 モンゴルの食文化を堪能

町国際交流協会（館山審会長）では12月3日、総合ケアセンターゆくりで異文化交流事業「モンゴル料理に挑戦」を行いました。「食」を通じて異国の文化にふれようと今年で5回目の行事。苫小牧駒澤大学の金内花枝准教授を招いて、モンゴルなど4カ国の留学生と聴講生7人の協力により、粉食文化「小麦粉の魅力」についての講話や料理作りを行いました。町内から参加した主婦など21人は、流ちょうな日本語で話すモンゴル出身のオンドラホさんの手ほどきで、道産小麦「春よ恋100%」を使用し、日頃モンゴルの食卓に並ぶ伝統料理のボーズ（肉饅頭）やじゃがいもスープなどを調理しました。館山会長は「food is 風土。異国の食を知り同時に文化も知る良いチャンス。その国の料理を作っていると風土が思い浮かぶ」と目を細めていました。



駒澤大学の留学生と手を取りあって調理する参加者

心を込めてクッキー作り。京町保育園で

京町保育園の年長組11人が12月14日、同保育園でクッキー作りを体験しました。同保育園が企画し恒例の行事。栄養士の宮野和美さんの手ほどきで、先生が事前に準備したクッキーの生地で、園児がハートやりんごなどの型抜きクッキーを作りました。森本真由ちゃんは「クッキー作りは初めてだったけど楽しかった。お家でもやってみよう」と笑顔で話していました。焼きあがったクッキーは3時のおやつに出され、全園児で食べました。



志望校合格に弾みを!!

厚真中学校（濱口明雄校長）では12月14日、3年生と保護者、先生による合格祈願のもちつきが行われました。同中の体育館に、昔ながらの杵と臼を用意。保護者の畑嶋麻由美学級委員長が「志望校合格を願って、粘り強く、そして力強くついて」とあいさつ。生徒と保護者の「ヨイショ！ヨイショ！」のかけ声に合わせ、志望校の合格を願い杵を力強く振りおろしていました。つきあがったもちを、雑煮やおしるこ等に調理しました。



町民吹奏楽団から園児へ 生演奏のプレゼント!

町民吹奏楽団（松下一彦代表）の団員16人が12月4日、みつば保育園（佐藤泰夫園長）を訪れ、同団が奏でる音楽、少し早めのクリスマスプレゼントを園児たちと保護者は楽しんでいました。同園を訪問するのは今回で4回目。子どもたちが大好きなアンパンマンやコナンなどのアニメソングを中心に5曲を演奏。園内に響き渡る音色に園児たちも笑顔を見せ、手拍子で応えていました。



厚高野球部ボランティア ゴミの無い町を目指して…

厚真高校野球部（前川護監督・部員9人）が今年も恒例の清掃ボランティアを行っています。活動は6年目で地域へ感謝の気持ちを込めて、オフシーズンの10月中旬から3月末まで毎週土曜日に実施。市街地を中心にゴミを拾い集め、冬期には公共施設などの雪かきも行います。前川監督は「地域貢献が活動のきっかけ。やるからには北海道1、ゴミの無い町を目指す」と話していました。



石臼に興味津津の中央小の児童たち

暮らしを支えた道具の今昔に感動。

中央小学校（石井告美校長）で12月10日、同小と町教委による特別授業“昔の農作業で使われていた農具”を小林輝男さん（豊沢）、金子直光さん（美里）の学校支援ボランティアの方を迎え、同小4年生16人が受講しました。旧幌里小に保管している千歯こき、唐み、縄ない機などを用いて先人の知恵と技術を実体験。小林さんと金子さんの手ほどきにより束ねたわらを入れ、足で動かして縄ないなどに挑戦しましたが、思うようにいかず昔の人たちの苦労を実感しました。滝本天舞君は「昔の道具は難しかったけど、おもしろかったです」と目を輝かせていました。

ちょっと早めの「メリークリスマス」

社会福祉法人北海道厚真福祉会（岩筋雅弘理事長）のリハビリセンターと豊厚園のクリスマス会が12月15、16日の両日、同施設で行われました。16日に行われた同センターのクリスマス会では、岩筋理事長が「今日は、ごちそうを食べながらアトラクションを見て、クリスマス気分を楽しんで」とあいさつ。宮坂町長も「アットホームな雰囲気で心温まります」と話した後、自作のなぞなぞを投げかけ会場の笑いをとる一幕も。ツリーや電飾が飾りつけされた華やかなステージでは、同施設の職員やあゆみ会の皆さんなどが、自慢の演芸を披露していました。



サンタの装いでクリスマス気分を盛り上げる

「私たちはそば打ちの達人!？」

厚真中央小学校（石井告美校長）の6年生18人が12月15日、こぶしの湯あつまでそば打ち体験をしました。同小6年生は、総合的な学習の一環で学校農園でそばの実を栽培。秋にみんなで収穫した700グラムのそば粉を混ぜてのそば打ち。多くの児童が初めての体験で、インストラクターの北島千鶴子さんの手ほどきでそば打ちのノウハウを学びました。高橋龍くん（11）は「そば打ちは、思っていたより難しかった。そばの実と中力粉を八の字に混ぜるのが大変。でもおいしく出来てよかったです」と話し、打ちたてのそばを笑顔で味わっていました。



真剣に面棒で生地を伸ばす中央小6年生

札幌厚真会の小原さん 故郷に贈り物

日立グループの社会貢献活動団体「親切会」の理事である小原祝一さん（67）が、同グループの製品である地上デジタル対応37型テレビ1台をこぶしの湯に寄贈しました。この寄贈は同団体の福祉活動の一環によるものです。札幌在住の小原さんは、中学までを厚真で過ごし、その後は札幌へ。現在は札幌厚真会の幹事を担い、多方面にわたり故郷である厚真町のPRや交流活動に貢献していただいています。年に数回、必ず厚真を訪れるという小原さんは「多くの町民の皆さんに利用していただきたいですね」と満面の笑みで話していました。



こぶしの湯で小原さん（左）と酒井支配人

ひまわりバレー 粘り強さ光り準優勝

厚真ひまわりバレーボール少年団（立石恵輝監督）が11月27・28の両日、江別市で行われた第8回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会で、準優勝に輝きました。大会は15管内の代表チームと昨年の優勝チームの計16チームが参加。準決勝では格上のチームに見事逆転で下し、決勝は優勝候補に敗れましたが、1セットをとるなど善戦しました。立石監督は「拾って拾って、うまく得点に結びつけることができた」と納得。6年生の4人にとっては最後の全道大会で、試合後選手たちは、保護者とともに笑みを浮かべ、準優勝の喜びを分かち合っていました。



激闘の末、準優勝に輝いた選手たち

まちの話題 plus

新嘗祭に新穀を献上 大役終え、献納式の様子を報告

宮中祭祀のひとつ、新嘗祭に新穀を献上する重責を果たした石井勉さん（富里）が12月9日に役場を訪れ、石井さんの献納した精米5合のゆめぴりかが、新嘗祭に供されたとする掌典長からの伝達書を受け取りました。新嘗祭は皇居で11月23日の勤労感謝の日に行われ、本町は10年ぶり5回目の指定。石井さんの圃場で5月に「御田植祭」を行い、ゆめぴりかの苗を手植えし、9月には「抜穂祭」を行い、関係者などが心を込めて稲を刈り取りました。献納式に夫婦で出席し大役を務め終えた石井さんは「虫や病気がつかないように、おいしい米を作ろうと一生懸命管理しました。農業情勢がますます厳しくなっていく中で、こうしたことが少しでも若い農業者の励みになれば」と力強く話していました。



胆振総合振興局長から伝達書が手渡される

「これまだ使えるよね？」不用品即売会

町コミュニティ運動推進協議会（松井満男会長）では12月1日、毎年恒例の「歳末コミュニティ不用品即売会」を総合福祉センターで行いました。歳末助け合いと物を大切に使う趣旨に賛同した町民の方々から寄せられた多くの衣料品や雑貨などを、同即売会に協力するコミュニティ推進員の皆さんが前日からディスプレイなどを準備。この日は、オープンから大勢の町民が会場に足を運び、袋いっぱい買い求める姿が見られました。今回の売り上げの41,369円は6日、松井満男会長から社会福祉協議会に寄付されました。



手にとって品物を見定める来場者

歳末に交通安全と防犯の誓い

町や町交通安全推進委員会などによる平成22年度交通安全・防犯町民集会が12月8日、総合福祉センターで自治会や事業所、関係団体などから約80人が参加し行われました。冒頭、町交通安全推進委員会会長の宮坂町長が「これからのシーズンさらに交通安全に気を配って。愛する家族のためにも」とあいさつ。集会では最近の交通事故情勢などについて、苫小牧警察署石川憲章交通課長と同署佐藤陽美生活安全係長を講師に迎え、理解を深めました。石川課長は「今日ここにいる皆さんがメッセンジャーとなり、交通安全を呼びかけていって」と訴えていました。



苫小牧警察署石川交通課長による講話

「ミニバレー」頂点目指し熱戦展開!!

町教委が主催する第19回ミニバレーウインターリーグがスポーツセンターで11月29日に開幕し、3日間にわたり熱戦が繰り広げられました。今大会は28チーム190人が参加。開会式で兵頭利彦教育長があいさつし、「ケガに気をつけ優勝に向かって頑張って」と呼びかけました。開幕から各コートで熱戦を展開し、試合の合間には参加チーム同士が和やかに交流を深めていました。[成績は次のとおり]
・Aリーグ優勝「軽舞Cチーム」 準優勝「ファイアーボンバー」
・Bリーグ優勝「太郎くんチーム」 準優勝「グリーンストーンズ」



決勝トーナメントでの熱戦



釣りゲームを楽しむ来場者

児童も大人も。「上小フェスティバル」

上厚真小学校（横山守校長）で12月17日、子どもたちが心待ちにしている「上小フェスティバル」が行われ、同小児童のほか来年3月から通う富小・軽小の児童、宮の森保育園の年長組が招待され一緒にゲームや買い物を楽しみました。各学校・学年が趣向を凝らしたゲームコーナーや雑貨店が体育館に店を連ね、今年は音楽室を釣り堀に。手づくり紙幣の「ベル」を握りしめ、「いらっしゃい、安いですよ」と店員さんの児童の声もにぎやか。来春から同校に通う森山明日香さん（富小）は「上小のみんなが優しいので、春から通うのが楽しみです」と話していました。

京町保育園・支援センターでクリスマス

京町保育園と子育て支援センターで12月22日、恒例のクリスマス会が開かれ、それぞれの催しを園児や幼児は楽しみ賑やかな時を過ごしました。同保育園は、加藤園長と三上先生で二人羽織を披露し園内を爆笑の渦に。同支援センターでは、サンタクロースとトナカイに扮した職員や先生方と一緒に、幼児と保護者、いきいきサポートのおじいちゃん方が歌やダンスを。帰りには、部屋の外で待ち受けたサンタクロースとトナカイから、菓子やジュースなどのプレゼントをもらった子どもたちは、一足早いクリスマスに大喜びでした。



サンタクロースに扮した職員からプレゼント

調理師の皆様へ！

働いている調理師は、
「調理師業務従事者届」を出すことが
調理師法で義務づけられています。

近年、国民の食生活においては、外食の機会が増えており、飲食店等において調理の業務に従事する調理師の皆様方が国民の食生活に果たす役割はますます重要になってきました。
このため、調理師の資質の向上を目的とする各種事業が円滑に実施できるよう、働いている調理師は「就業届」を出すことが義務づけられています。

☆届出の必要な方は、次のところで調理の業務に従事している調理師が対象となります。

- ・ 寄宿舍、学校、病院、事業所、社会福祉施設、介護老人保健施設、矯正施設、その他多数人に飲食物を調理して供与している施設
- ・ 飲食店営業、魚介類販売業、そうざい製造業

☆平成22年12月31日現在の状況を書き込んで、
平成23年1月15日までに 働いている地域の社団法人北海道全調理師会
各支部に届け出てください。

【問い合わせ先】

◎社団法人北海道全調理師会

札幌市中央区南8条西2丁目 市民活動スペース アウ・クル311

電話 011-511-1351

◎社団法人北海道全調理師会苫小牧支部

（支部長）苫小牧市音羽町2丁目15番1号 食事処味源 川越 時雄

（電話） 0144-36-0739

◎北海道保健福祉部健康安全局

札幌市中央区北3条西6丁目 電話011-231-4111（内線25-522）

◎北海道苫小牧保健所（北海道胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室）
健康推進課健康増進係

苫小牧市若草町2丁目2番21号 電話0144-34-4168

北海道・社団法人北海道全調理師会

まちの話題 plus plus

厚幌ダム建設を再検証 第1回建設事業地域代表者会議

厚幌ダム建設を再検証する初めての地域代表者会議が12月14日、総合福祉センターで行われました。会議には宮坂町長、農協、土地改良区、商工会、森林組合、漁協など9団体14人が出席。道事業である厚幌ダムの建設は国の補助を受けており、ダムに頼らない治水を掲げる国土交通省の要請に応じて、今回再検証することになりました。この日は午前に関地視察、現行のダム案も含め17の利水と26の治水対策を費用対効果などを道担当者が説明。午後からの代表者会議では、出席者から早期完成を切望する意見が相次ぎ、ダムの必要性を訴える意見が目立ちました。

出席者からは「厚幌ダムは、治水だけではなくて農業用水など多目的な役割を担っており、地域住民の期待は高まる一方」と強調する声も。今後は方針を示すため、年度内に2回の会議を予定しています。



厚幌ダム建設を再検証した代表者会議

外国語研修会 文部科学省から講師招聘

厚真町国際理解教育推進委員会主催の「外国語授業の教員研修会」が12月13日、中央小学校で町内外の教員50人が参加し行われました。

この日、講師の文部科学省直山木綿子^{ゆうこ}教科調査官と町英語指導助手（ALT）と一緒に、ゲームや動作を取り入れながらの公開授業が行われ、児童達は英語のやりとりを楽しみました。その後の講演で直山さんは「小学校では外国語への慣れ親しみ、中学校は能力・理解の定着が求められる」と提言。さらに「小・中では外国語活動の目標や評価が異なる」と説明。平成23年度から、外国語授業は小学校で本格実施となります。



公開授業での直山さんと中央小6年児童

「子は宝」畑島ツルさん100歳のお祝い

明治43年12月18日に幌内で産声を上げた畑島ツルさん（朝日）が12月17日、満100歳を迎え宮坂町長が自宅を訪れ祝い品を贈呈しました。

ツルさんは夫・竹次郎さんと昭和5年に結婚し、4男3女の子どもを授かり、孫15人に恵まれました。現在は息子の武司さんご夫婦と同居。これまでの人生を振り返りながらツルさんは「大黒柱だった主人が亡くなった時は本当に大変でした。私を今日まで支えてくれた子どもたちに感謝してます」と笑顔。宮坂町長は「いつまでも長生きしてください。ツルさんはみんなの目標ですよ」とお祝いの言葉を贈っていました。



宮坂町長から祝い品を贈呈されるツルさん

小説家・内山安雄さん記念文庫オープン

本町出身（上厚真地区）で現在小説家として活躍している内山安雄さんが書き下ろした代表作の「渋谷女子力」など41冊を寄贈しました。その蔵書で、こぶしの湯に内山安雄文庫を設置し除幕式が12月21日に行われました。この日は町のグリーンツーリズムのアドバイザーを務める奥さんの今澤知江さんが代理で出席。夫・内山さんのメッセージを今澤さんが「物書きの原型は厚真にある。よりいっそう厚真の良さ、素晴らしさを日本中に伝えたい」と代読しました。宮坂町長は「内山さんのご活躍は厚真町民として誇りに思います」と話していました。



今澤知江さんと宮坂町長が除幕

私の大切な家族

ペ
ット

レイ ♀ 3歳（犬・ダックスフンド）

軽 舞 岡 村 信 洋 さん家族



憲子さんといつもベッタリのレイ

「寝るときは、いつも私と一緒になんです。とっても甘えん坊さんなんです」と奥さんの憲子さんは目を細める。いつも家族みんなから人気者のレイ。常に岡村家を癒してくれる存在だ。前の飼い主の方が亡くなって、声をかけてもらい譲り受けることに。「出会った瞬間に思わず目を奪われてしまったんですよ『かわいい〜』って！室内犬を飼うのは初めてだったし、うれしかったです」と憲子さん。人見知りが激しく、知らない人が尋ねてくるとうるさく吠えるのがたまに傷だが、2〜3回出会えばなれるという。「気分転換でもと思い外に離せば、ロケットみたいに飛んでいくんです。あまりの勢いにびっくりしちゃいますよ」と笑う。「夜になり、家族が揃えばレイのとりあい。もうすっかり3人目の子どもです。とにもかくにも岡村家の“永遠のアイドル”ですね」と目じりを下げた。

ペット、本を紹介してください。お気軽にまちづくり推進課企画調整グループまで（☎27-3179）

本

私の出会った素敵な本

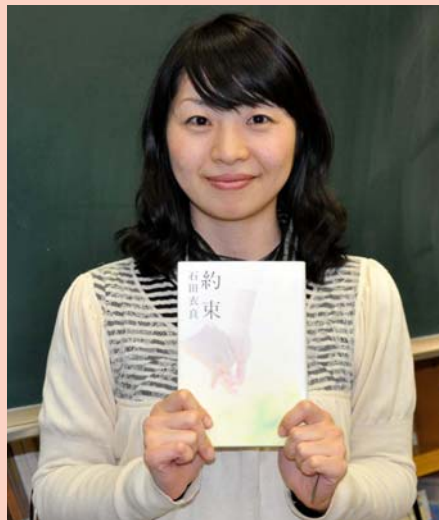
「約束」

石田 衣良／作

上厚真小学校教諭

太 田 亮 恵 さん

教師だった父親の後ろ姿を結果的には追い求めた太田先生。「この本は懂れていた親友が一緒の下校途中、通り魔の犠牲になり、『死ぬべきは自分だった』と責め続けるんですが、最後は天国の親友にしっかり生きると“約束”するお話なんです。小学生が主人公ということもあって、クラスの子どもたちをつい考えてしまい、ポロポロ涙がこぼれそうでした」と話す太田先生。実は懂れは一方通行ではなく、この二人は互いに認め合っていた。「人に懂れることってよくあると思うんです。例えば自分ないものを持っていたりすると。でもそれぞれが、かけがえない存在。みんな光放つ色が違うんですよね」とほほ笑む。睡眠前の読書が日課の太田先生は、『東野圭吾』の作品もお気に入りだ。たまに落ち込む夜は、とことん前向きになれ気持ち向上するものを読むという。「本を読むことによって、癒しの時間と空間が作られます。私の中に新しい価値観が生みだされますね」と太田先生から笑みがこぼれた。



人

このマチのポストカードを作ってみたい

本郷

杵淵

孝 さん（54歳）

先月、苦信厚真支店支店長に就任され、道を覚えるのに苦戦中の杵淵さん。ちよつと意外な一面を紹介。「漁師町の日高管内えりも町で生まれ、中学3年まで過ごしました。とにかく外で遊ぶことが好きだったせいか、一年中真つ黒な子でした。山に行つて穴を掘つて遊ぶことが当たり前だった時代、わんぱく少年だったので一緒に暮らしていた祖母によく叱られました。でも、どんなに叱られても『おばあちゃん子』だったので、いつも祖母にくつついていましたね」と幼少の思い出を話す杵淵さん。厚真支店の前は、苦小牧本店の監査部で手腕を振るっていた。ここ厚真の地は10力所目の営業拠点となる。その明るく気さくな人柄と、ひたむきに仕事に打ち込む杵淵さんへの部下の信頼は厚い。「高校では寮暮らしでした。サーカスが好きて体操部を見学に行つた時、『びよんびよん』飛び跳ねてる姿を見て、「おもしろそうだな

〜」と思つて入部したんです。ただ、小さい頃から好きだったマンガやレタリングの方が熱心だったかも。きっかけはアニメ、巨人の星の『星飛雄馬』にあこがれたから。授業中にノートの端っこに落書きをしていました。何だか懐かしいですね」と当時を振り返る。高校卒業後、ここで人生の岐路に立つ。その頃、大工にあこがれていた杵淵さん。お母さんに「ステキな家を建ててやるよ」と言っていたほどだったが、事態は急転した。最終的には、もともと興味のあった金融業界の苦小牧信用金庫に入行し36年もの月日が流れた。「今は、いかに人を育てるかということを念頭に置いて仕事に励んでいますね。昔から何かトラブルがあつた際は、原因の根底をとことん突きとめます」と強調する。「厚真に来て驚いたんですが、街並みがとてもきれいですよね。そして町民の方の人柄がいいのか。都会とは違い、気軽にあいさつを交わしてくれます。後は何といつてもお米がおいしいですよ！この町の要所を、これから見つけていく中で、『ポストカード』を作ってみたいですね。この先どんな時を過ごすことになつても、マンガは死ぬまで描きつづけたい。描くことは、私にとって最大の生きがいです」と言い切る杵淵さんだ。

い
き
い
き

ふるさと

図
鑑



厚高インフォメーション



139

キビしいけれど、ガンバってます！

新聞・テレビでの報道のとおり、今の若者の就職状況は、大変厳しいものがあります。

十月末現在、苫小牧地方の高校生生の就職率は、46%にとどまっています。つまり、就職を希望する半分以上の高校生が、まだ内定をもらっていないということになります。

そんな「超氷河期」ではありますが、厚高の就職決定率は60%を超え、苫小牧地方の平均を上回る健闘ぶりを見せています。

町内の中学出身者では、トヨタ自動車北海道㈱（森田知和君）や北ガスジェネックス㈱（高橋健太君）などが、内定をもらうことができました。

また進学希望者においては、山田美沙紀さんが、室蘭の日鋼記念看護学校に合格し、看護士への道の第一歩を踏み出すことができました。

このように、明るい話題の一方で、求人件数自体が少なすぎて、受験の機会が得られない生徒もいるのが現状です。

厚高では、地元企業を中心に全員の就職が決まるように願っているところです。

（写真は、面接練習中のひとこま）



富野小 3年 清野 綾花さん（8）
『ひよこのピー君』という絵本です。色鉛筆で塗ったので、温かい感じにできました。図工は得意！



わたしたちの作品



軽舞小 4年 石崎誇虎くん(10)、山下勝利くん(10)、目黒ちひろさん(9)、折坂拳聖くん(10)『人の動き』をテーマに作った版画です。下絵は、みんな20枚ぐらい描き直しました。背景を細かく、丁寧に彫ることができたかな？4作品とも、コンクールに提出しました！

今月の記念日

1月23日は「アーモンドの日」

「1日23粒のヘルシー・アーモンドライフ」を推奨するカルフォルニア・アーモンド協会が、「1日23粒」と「1月23日」を重ね合わせて制定しました。

「1、2、3」の掛け声とともに、アーモンドで新しいヘルシーライフを始めるきっかけにしてほしいという願いも込められています。

アーモンドは「天然のサプリメント」といわれるほど良質の栄養素が詰まっています。「若返りのビタミン」と呼ばれるビタミンEをはじめ、食物繊維、ミネラル類、オレイン酸、ポリフェノールなど10種類以上。ビタミンEは、1日に手のひら1杯分（約23粒・28グラム）で日本人の成人女性に必要な摂取量がほぼまかなえます。また、アーモンドに含まれる脂肪分の約70%を占めるオレイン酸は、善玉コレステロールを残して悪玉コレステロールを減らす良質の脂肪です。

アーモンド栽培の歴史は古く、1世

紀ごろのギリシャの植物図鑑にすでにアーモンドの薬効についての記述が見られます。起源は西アジアで、シルクロードを通じて地中海、ヨーロッパ、そして大西洋を渡って18世紀にカルフォルニアへ。今では世界の80%のアーモンドがカルフォルニアで栽培されています。

アーモンドの栄養素を美容と健康に生かすには、1日23粒を目安に、毎日継続してバランスよく摂ることが大事。効率よく栄養をチャージするには、毎日の料理にアーモンドをアレンジするのも効果的です。アーモンドにはスライスやパウダーなど、さまざまなタイプがあります。上手に使えば料理の幅も広がります。

同協会のサイトには、和・洋・中ごとに、ご飯や副菜、デザートなどにして味わえる「アーモンドレシピ」が掲載されていますので、活用してみたいかがでしょうか。

文芸あつま ◆短歌◆

この暮れも冬を迎えんホームレスに国の救済望みいるなり
幼き日われら見つむる仕事場に父の打つ鉄の火花散りあし
新年の歌会を終へて百人一首齢忘れて時を楽しむ

（新町 中田 八重）
（本郷 木村 洋子）
（本郷 矢部 慧子）
（あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十五号』から抜粋）

ぼくの・わたしの クラスじまん

ともだちっていいな



紹介してくれたのは…

厚南中学校3年生のみなさん
（書いてくれたのは）みんなで書きました

その110 厚南中学校



私たちは厚南中学校3年生は、男子7人、女子6人の13人です。人数は少ないですが、運動会では全校生徒をまとめるために、先頭に立ち、力を合わせて成功させることができました。学校祭でも、練習や準備でお互い意見を出し合ったり、励まし合ったりと団結力が高いです。

今私たちは高校入試に向けて、放課後補習を受けています。少しずつ課題を解決していきます。

また期末テストではクラスの合計点を掲示しています。その分析だと3学期に高くなる傾向があることに気づきました。

最後のテストでクラスの合計点が、中学校生活で最高点になるように頑張っています。

ほけんの掲示板



2月

乳幼児健康診査

とき 2日(木)
3～6カ月児 13:30～13:50
9～12カ月児 13:00～13:20
※対象者には個別に通知します。
ところ 総合ケアセンターゆくり
対象 前期：生後3～6カ月 (H22.8.11～11.2生まれ)
後期：生後9～12カ月 (H22.2.11～5.2生まれ)
持ち物 母子手帳、バスタオル、アンケート類

離乳食講習会

とき 15日(火) 10:00～13:30
ところ 総合ケアセンターゆくり
対象 H22.8.11～H22.11.2生まれ(3～6カ月)の乳幼児健診受診後のお子さん
持ち物 母子手帳、筆記用具、エプロン、手ふきタオル
申し込み 8日(木)までに町民福祉課健康推進グループへご連絡ください。

児童相談所巡回相談

とき 17日(木)
※時間は人数が確定次第決定します。
ところ 総合ケアセンターゆくり
対象 お子さんの発達や子育てについて、お悩みや相談がある方ならどなたでも相談できます。
申し込み 7日(月)までに町民福祉課福祉グループへご連絡ください。
スタッフ 室蘭児童相談所 児童福祉司ほか
※個人情報・秘密は厳守いたします。

二種混合予防接種

とき 7日(月)～8日(火)
ところ あつまクリニック
受け付け 接種希望当日に町民福祉課で受け付けを行ってください。
受付時間は9:00～11:30、14:00～16:30です。
対象 小学6年生で、7～8月に未接種の方
持ち物 母子手帳、印鑑
※二種とは、ジフテリアと破傷風のワクチンを混合したものです。

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 21日(月)～25日(金) ※24日(木)午後は休診です。
ところ あつまクリニック
受け付け 接種希望当日に町民福祉課で受け付けを行ってください。
受付時間は9:00～11:30、14:00～16:30です。
対象 ①生後12カ月から24カ月までのお子さん
②平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)
③中学1年生(平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの方)
※上記以外の場合は町保健師にご相談ください。
持ち物 ①②の方…母子手帳、印鑑
③の方…母子手帳、予診票様式三(保護者が同伴できない場合は、予診票様式四《保護者が署名したもの》をご持参ください)

三種混合予防接種

とき 14日(月)～18日(金) ※17日(木)午後は休診です。
ところ あつまクリニック
受け付け 接種希望当日に町民福祉課で受け付けを行ってください。
受付時間は9:00～11:30、14:00～16:30です。
対象 ①1期初回一初めの場合には、生後3カ月から12カ月までが標準的な接種年齢となります。1期初回を1回以上接種して、生後12カ月を超えている場合は48カ月までにできるだけ終了してください。
②1期追加ー1期初回接種(3回)終了後、12カ月から18カ月までに接種してください。
※上記以外の場合は町保健師にご相談ください。
持ち物 母子手帳、印鑑

平成22年10月1日、たばこ税の増税に伴い、たばこ1本当たり5円、一箱当たり100円以上値上がりしたことは、町民のみなさまにとっても記憶に新しいことと思います。

この値上げをきっかけに、禁煙を宣言された方も多いと思いますが、すでに失敗した方も少なくないはず。禁煙成功者の多くは、過去に何度も禁煙に失敗しています。禁煙が失敗したとしても、次の禁煙に生かすことが大切です。今回は、「こどもに与えるたばこの害」についてご紹介します。いま一度禁煙の大切さを確認し、新年を迎えるにあたって、禁煙にチャレンジしましょう！

小さなこどもたちは、自分でたばこを吸うようなことは、通常ありませんが、同居する家族内に喫煙者がいる場合、喫煙者がたばこを吸って生じた、たばこの煙を受動的に吸ってしまう受動喫煙が小さなこどもたちにとって問題となります。

【気管支炎・肺炎・気管支喘息】

1歳未満の赤ちゃんの肺炎・気管支炎について、両親とも喫煙していない家庭の赤ちゃんに比べると、両親とも喫煙する家庭の赤ちゃんは、2倍の確率で肺炎・気管支炎になりやすいとする研究があります。
気管支喘息のこどもたちについては、親が喫煙する場合には、発作の頻度がより多く、喘鳴・咳・痰・呼吸困難といった症状がより重くなる傾向があることが知られています。

【乳児突然死症候群・低体重出生児】

乳幼児の受動喫煙は、乳児突然死症候群の危険因子の一つだと考えられています。ただし、子宮内の胎児の時期における母親の喫煙が、より主要な危険因子だと考えられています。妊娠中のお母さんの喫煙は、乳幼児突然死症候群の危険因子だけではなく、おなかの赤ちゃんに十分な酸素が供給されず、低体重など、いろいろな悪影響があることはよく知られています。予防のためには、妊娠前から禁煙することが大切です。

【がん】

こども時代だけに家庭内で受動喫煙のあった人たちと、大人時代にだけ家庭内で受動喫煙のあった人たちとは、こども時代・大人時代とも受動喫煙のなかった人たちと比較すると、“がん”になりやすいという研究があります。

10歳未満で受動喫煙がなかった人たちよりも、10歳未満で受動喫煙があった人たちの方が、白血病になりやすいようです。

【むし歯】

受動喫煙すると、むし歯が増えます。こどもの体内のニコチン摂取量が多いとむし歯になりやすいということです。
両親ともに喫煙している場合は、最もお子さんの体内ニコチン量が多くなります。こどもから距離をとって喫煙していても、換気扇の下で吸っても、こどもは知らず知らずのうちに、体内にたくさんのニコチンを摂取してしまうのです。

こどもの受動喫煙によって、起こる可能性のある悪影響について、保護者は知ることが大切です。そしてこどものためにも、たばこを吸うのはやめましょう。

こどもに関わらず、たばこが健康にどのような影響をもたらすかは、折込みパンフレット「喫煙と健康」をご参照ください(右下写真参照)。禁煙したい方には、禁煙外来がお勧めです。禁煙外来は、あつまクリニックでも受けることができますので、一度、電話で相談してみましょう。

苫小牧市夜間休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜日	受付時間	(住所) 苫小牧市旭町2-9-2 (電話番号) 0144-35-0001
月曜日～金曜日	19:00～翌朝7:00	※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。
土曜日	14:00～翌朝7:00	
日曜日	9:00～翌朝7:00	
年末年始(12/31～1/3)	9:00～翌朝7:00	

★「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
<http://www.toma-med.or.jp/>
また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
携帯電話用 URL <http://www.toma-med.or.jp/phone/>
※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承ください。

喫煙と健康



役場町民福祉課健康推進グループ

2月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病院名	住所(苫小牧市)	電話番号(0144)	(診療時間) 9:00～17:00 当番医は変更になることがあります。 新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。 (お知らせ) 『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。 ホームページアドレス http://www.qq.pref.hokkaido.jp 電話 フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
6日(日)	内科系	神谷医院	桜木町2-25-1	71-2351	
	外科系	三上外科整形外科	元中野町3-8-14	33-7815	
11日(金祝)	内科系	吉田内科医院	川沿町4-8-25	73-6233	
	外科系	双葉外科医院	双葉町2-10-17	32-5470	
13日(日)	内科系	方安庵青雲町クリニック	青雲町2-12-16	61-5555	
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221	
20日(日)	内科系	合田内科小児科医院	音羽町2-17-3	33-9208	
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000	
27日(日)	内科系	川口小児科医院	しらかば町6-15-27	73-0500	
	外科系	ともより整形外科	東開町4-21-22	57-8211	

募集

常設へき地保育所の
園児を募集します

町では、4月から保育所に入園を希望する園児を募集します。

申し込み期間

1月11日（火）～2月4日（金）

申し込み先・問い合わせ先

役場町民福祉課子育て支援グループ（☎26―7872）

常設保育所

■募集人数 京町保育園 60人

提出書類

入園申請書、雇用証明書(以上は役場町民福祉課子育て支援グループと役場上厚真支所にあります)、印鑑、給与所得者は前年の源泉徴収票

※初めて入園を希望する園児の面接調査は、入園申請後に保育園で行います。

■京町保育園に入園できる児童

入園できる児童は、両親のいずれもが次のいずれかの事情にある場合です。

①保護者が家庭の外で仕事をする
ことが普通なので、その児童の保育ができない場合

②保護者が家庭で児童と離れて日常の家事以外の仕事をする
ことが普通なので、その児童の保育ができない場合

③親が出産前後、病気、負傷、心身に障がいがあったりするので、

その児童の保育ができない場合

④その児童の家庭に長期にわたる病人や心身に障がいのある人がいるため、親がいつもその看護にあ

たっており、その児童の保育ができない場合

⑤火災や風水害、地震などの不幸

があり、その家を失ったり破損

したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合

※そのほかの事情で入園を希望する場合はお問い合わせください。

へき地保育所（さくら、宮の森、みつば）

■対象児童

・宮の森／満1歳6カ月以上で離乳食を完了しているお子さん
・さくら、みつば／原則として満3歳以上のお子さん

■提出書類

入園申請書（役場町民福祉課子育て支援グループと役場上厚真支所にあります）、印鑑

■その他

宮の森保育園を申し込みできる方は、郵便番号が059―170〇の区域に居住の方になります。

確定申告

確定申告の
受付が始まります

よび個人事業税）の確定申告の受付が2月16日（水）から始まりま
す（還付申告は、1月から受け付
けています）。

確定申告書は、「前年の申告書控

え」や「確定申告書の手引き」な
どを参考に、収入額、各種控除（扶

養、障害、寡婦（夫）など）を確
認のうえ、ご自分で作成し、お早
めに提出してください。作成した
確定申告書は、郵送等により提出
できます。

なお、確定申告書は、国税庁ホー
ムページ（<http://www.nta.go.jp>）
の「確定申告書等作成コーナー」
で簡単に作成することができます。

す。作成した確定申告書は、その
ままe-Taxで送信することが
できるほか、印刷して郵送等によ
り提出することもできます。

また、平成21年分の確定申告書
をご自宅で国税庁ホームページ
「確定申告書作成コーナー」を利用
して提出された方、または苫小牧
駅前プラザ「e-gao」7階など
の申告会場でパソコンを利用して
提出された方のうち、利用者識別
番号や予定納税額等をお知らせす
る必要がある方につきましては、
1月下旬に「確定申告のお知らせ」
を送付いたしますので、こちらを
ご覧ください。

苫小牧駅前プラザ「e-gao」

7階などの申告会場にお越しの際
は、「前年の申告書控え」、確定申
告に必要な書類（および「印鑑」
をご持参ください。（確定申告の
お知らせ」が届いている方は、そ
のお知らせも持参してください）。

なお、駐車場が大変混雑します
ので、公共交通機関をご利用くだ
さい。

■申告会場
苫小牧駅前プラザ「e-gao」
7階

■期 間
1月20日（木）～3月15日（火）
（期間中の土・日曜日、祝日を除く）

■受付時間
午前9時～午後4時30分

募集

23年度の「学童保育」を
希望する児童を募集

子ども及び健全育成上指導を要す
ると、町長が特に認める小学校5・
6年生の、お子さんで、学童保育
を希望される保護者の方は、申し
込みをしてください。

なお、22年度在籍しているお子
さんも申し込みが必要です。

■募集期間

1月11日（火）～2月4日（金）

■学童保育負担金

一人／一カ月（1000円）

■受付場所

印鑑を持参して、役場町民福祉
課子育て支援グループまたは役場
上厚真支所で申し込みください。

■問い合わせ先

役場町民福祉課子育て支援グ
ループ（☎26―7872）

欺など、経済的弱者をターゲット
にした犯罪を敢行しています。

皆さんの力で社会の敵である
「暴力団」を追いつ出し、明るいま
ちをつくりましょう。

なお、暴力に関する悩みのある
方やお困りの方、または暴力団に
関する情報がありましたら、次に
連絡してください。

■連絡先

北海道暴力追放センター（☎0
120―210―490）、苫小牧
地区暴力追放運動推進協議会（☎
0144―37―8930）、苫小
牧警察署（☎0144―35―0
110）

自動車の不具合情報をお寄せ下さい。

国土交通省では、迅速なリコールの実施や
リコール隠し等の防止のため、「自動車不具合
情報ホットライン」を通じて、皆様のお車に
発生した不具合情報を収集しております。お
車に不具合が発生した際には、情報をお寄せ
ください。

○フリーダイヤル 0120-744-960(平日・日中)
○自動音声 03-3580-4434(年中無休・24時間)
○ホームページ受付 www.mlit.go.jp/RJ/

花火と干支文字の共演！スターフェスタ2011inあつま

町商工会青年部（齊藤範之部長）では、スターフェスタ2011
inあつま「第12回冬の花火大会・『卯』の干支文字焼き」を開
催します。皆さんのご来場を心からお待ちしております。

■日時 2月3日（木） 時間については後日お知らせします。
■場所 こぶしの湯あつま
■内容 ・厄払い豆・もちまき

年男年女、厄年の方に豆・もちをまいていただき、
鬼（疾病や災難）退治してもらいます。一般の
方には、豆・もち（2000個）ひろいをしていただ
きます。

・干支文字焼き

こぶしの湯から見える雪原に2011年の干支（卯）
の文字焼きをします。直線距離270mで、花火と
干支文字焼きの共演が楽しめます。

・打ち上げ花火

干支文字完成後に真っ白い雪原を舞台にした音
と光の演出で、約2000発の花火を打ち上げます。

・樽酒、ココアの提供

大人の方には樽酒を、
またお子様などには
ココアを無料提供い
たします。



▲昨年のスターフェスタ

詳細については、1月下
旬の新聞折り込みチラ
シをご覧ください。
天候などにより時間が
変更になる場合があり
ます。ご了承ください。

■問い合わせ先

町商工会（☎27―2456）

昨年から両イベントが隣接した会場で開催！！

夢と希望の灯り2011光のページェント第11回ランタン祭り

ランタン祭り実行委員会では、町民の皆さんや団体などのご
支援をいただき「夢と希望の灯り2011光のページェント第11回
ランタン祭り」を開催します。

昨年より会場が、本郷マナビィハウスからこぶしの湯あつま
付近にかけたの、開催となっています。約5,000個のランタン
が織りなす心癒される灯をお楽しみください。

また、「ランタン焼き」などの協賛事業も予定していますの
で、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

■日時 2月3日（木） 午後4時45分点火式開会

■場所 本郷マナビィハウスからこぶし湯あつま付近

■お願い 作製目標を5,000個としています。皆さんのご協力
をお願いします。



▶昨年のランタン祭り

■問い合わせ先 第11回ランタン祭り実行委員会実行委員長
金本圭二さん（本郷・☎27―3611）

環境行動目標

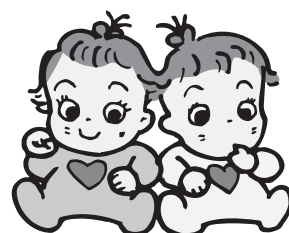
1枚多く着て1段暖房を小さく

厚真町環境対策町民会議

さかもと みりあ
坂本美里愛ちゃん
H 19・12・17 生
父— 龍 さん
母— 愛 さん
(錦 町)

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

「アニメの『プリキュア』の歌や踊りが大好きな活発な子です。10月に妹が生まれてからは、ヤキモチをよくやくんですが、お姉ちゃんとしてそばにくっついて面倒を見てくれる優しい子です」



まちのアイドル 333

しんひら こゆき
新平 小雪ちゃん
H 19・12・30 生
父— 洋 一さん
母— 明日香さん
(浜厚真)

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

「AKB 48 の歌やダンスを楽しむ明るい一面と、弟の面倒見がよい優しいお姉ちゃんの一面がありますね。アニメでは、トイストーリーの『バズ』がお気に入り。毎日DVDを見てるんですよ」

■今月の表紙

12月1日、「ミニバレーボールウインターリーグ」が28チーム190人が参加し、スポーツセンターで行われました。チームメイトに対し声をからし応援している『グリーンストーンズ』のメンバーの姿に目を見張りました。

■今月の内容

町長・議長年頭のあいさつ : いきいきふるさと図鑑
民生・児童委員の委嘱 : みんなの広場
平成22年第4回定例議会 : まなびや
農の里あつま2010 : 健康情報・ほけんの掲示板
フォーラムビレッジ予約開始 : 情報ひろば
まちの話題・調理師従事者届

2011年 1月
NO. 701

12月20日現在の人口
4,896人(前月末比 - 4)
男 2,386人 / 女 2,510人
世帯数 2,043(前月末比 +3)